
デジタルスクリーン製版機

MiScreen a4

マイスクリーン エーフォー

取扱説明書（日本国内用）

- ・ ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- ・ この取扱説明書はすぐ取り出せる場所に必ず保管してください。
- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- ・ 本製品および本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- ・ 本製品および本書の内容について万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら当社あてにご連絡ください。
- ・ 本製品の故障の有無にかかわらず本製品をお使いいただいたことによって生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本製品により作られた製作物に対して生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Mac および macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- ・ Adobe および Illustrator は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- ・ 、、 は理想科学工業株式会社の商標登録または商標です。

安全にお使いいただくために	3
印刷に関する注意	9
第1章：はじめに	
1.1 本機について	12
1.2 同梱品の確認	12
1.3 ほかに用意するもの	13
1.4 各部名称と機能	14
第2章：初めて使用するときの準備	
2.1 パソコンにソフトウェアをインストール	18
第3章：データの作成	
3.1 使用できるファイル形式	20
3.2 イメージサイズ	20
第4章：準備	
4.1 設置	22
4.2 接続	23
第5章：製版	
5.1 スクリーンマスターを貼る	26
5.2 パソコンからイメージを転送	28
5.3 製版	29
第6章：プリント	
6.1 プリント台へのセット	32
6.2 プリント	34
第7章：メンテナンス	
7.1 本体内部のクリーニング	38
第8章：消耗品（日本国内）	
8.1 キット	40
8.2 純正品	41
8.3 推奨品	41
第9章：付録	
9.1 トラブルシューティング	44
9.2 エラー状態とランプの関係	45
9.3 シリアル番号の表示位置	46
9.4 本機の仕様	46
9.5 問い合わせ先	46

安全にお使いいただくために

規格

- VCCI-B
この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

安全上のご注意

1 警告表示について

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

2 設置場所について

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

3 電源の接続について

警告

- 本機専用の AC アダプタ以外は使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源は本機の定格電圧値でご使用ください。また、定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。定格電圧値および定格電流値は、本書巻末の仕様「電源」の項をご確認ください。
- AC アダプタを熱機器など、高温になる場所に近づけないでください。AC アダプタの被覆が溶けて、火災、感電の原因となります。
- 電源コードは束ねたり、巻いたままで使用しないでください。束ねるとコードが熱くなり火災の原因となります。
- 分岐コンセントのご使用、タコ足配線はおやめください。火災、感電の恐れがあります。



- ・電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電の恐れがあります。
- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。



⚠ 注意

- ・プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください（必ずプラグを持って抜いてください）。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- ・連休などで長期間、本機をご使用にならない場合は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

4 アースの接続について

⚠ 警告

- ・アース線付電源プラグまたは3ピン電源プラグ（2極アース付電源プラグ）で構成された電源コードを使用し、必ずアース接続してください。アース線付電源プラグでアース接続する場合は、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- ・アース接続しないで万一、漏電した場合は、火災や感電の恐れがあります。なお、アース接続ができない場合は、販売会社にご相談ください。
- ・次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。火災、感電の恐れがあります。
 - ① ガス管
 - ② 電話専用アース線
 - ③ 避雷針
 - ④ 途中がプラスチックになっている水道管や蛇口
- ・アース線は次の場所に取り付けてください。
 - ① 電源コンセントのアース端子
 - ② 銅片などを、65cm以上地中に埋めたもの
 - ③ 接地工事（A種～D種）が行われている接地端子
 - ④ 水道局がアースの対象物として承認した水道管



5 取り扱いについて

⚠ 警告

- ・ 本機の上や周囲に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の恐れがあります。
- ・ 本機の近くで、可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。スプレーのガスや引火性溶剤が機械内部の電子部品などに接触すると、火災や感電の恐れがあります。
- ・ 本機のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電の恐れがあります。
- ・ 本機のカバーは外さないでください。感電やけがの恐れがあります。
- ・ 本機を分解したり、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。内部の点検、調整、修理はお買い上げの販売会社にご依頼ください。分解、改造による故障の場合は保証期間内でも有償修理となります。
- ・ サーマルヘッドと周辺の金属部分は電源投入中や電源 OFF 直後は高温になりますので直接触れないでください。やけどの原因となります。清掃する場合は温度の低い状態で行ってください。
- ・ 取り扱い方法を知らない人には決して触らせないでください。危険な場所に触れたり、本機が急に動き出したりしたときに思わぬ事故につながる可能性があります。
- ・ 万一、発熱していたり、煙が出ている異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の恐れがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社にご連絡ください。
- ・ 万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。



⚠ 注意

- ・ 本機のすきまなどには絶対に指などを差し込まないでください。けがの原因となります。
- ・ 本体を持ち上げるときは指を挟まないように注意しながら両端をしっかりと手で支えてください。

ご使用の前に

6 設置に関する注意

1) 設置場所に関する注意

- ・ 本機は平らな場所に設置してください。不安定な場所に設置すると、正常に製版できないことがあります。
- ・ 次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障、事故の原因となる場合があります。

- ① 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所（やむを得ない場合は窓にカーテンなどを付けてください）
- ② 温度が急激に変化する場所
- ③ 高温多湿、低温少湿の場所
- ④ 火気・熱気のある場所、クーラーなどの冷風、ストーブなどの温風、ふく射熱などが直接あたる場所
- ⑤ 通気性、換気性の悪い場所
- ⑥ ちりやほこりなどが多い場所
- ⑦ 強度が不足している作業机などの上



2) 使用環境に関する注意

- ・ 本機が水平に設置できる場所を選んでください。
- ・ 適正環境は次のとおりです。
 - ① 温度範囲：15°C～30°C
 - ② 湿度範囲：30%～70%（結露しないこと）

7 接続に関する注意

1) 電源を接続するときの注意

- ・ 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグはコンセントに確実に接続してください。
- ・ 本機はコンセントの近くに設置してください。



2) 電源コードについて

- ・ 当社推奨品の AC アダプタ側のプラグ形状は IEC320C14 です。
- ・ 当社推奨品の電源コードは本機専用です。ほかの電気製品では使用しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- ・ 本機の定格電圧値でご使用ください。また、定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。定格電圧値および定格電流値は、本書巻末の仕様「電源」の項をご確認ください。
- ・ 分岐コンセントのご使用、タコ足配線はおやめください。火災、感電の恐れがあります。

8 使用時の注意

1) 本機の取り扱いに関する注意

- ・ 本機は精密機械です。本機の上に重いものを載せたり、衝撃や無理な力を加えないようにしてください。
- ・ サーマルヘッド部や可動部に指や手を入れないでください。
- ・ 動作中に電源スイッチを OFF にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。
- ・ 動作中にスクリーン枠を動かしたり、本機を移動させたりしないでください。
- ・ 本機の内部には精密部品および駆動機構部がありますので、取扱説明書に書かれていること以外は行わないでください。
- ・ こまめに清掃してください。スクリーンマスター上に異物があるとサーマルヘッドの故障につながります。本体清掃にはシンナーや、ベンジンなどの溶解性の強い有機溶剤は使用しないでください。塗装がはがれたり、故障の原因になります。清掃の際には中性洗剤で軽く拭いてください。
- ・ 本機には指定の消耗品を使用してください。指定の消耗品以外での品質は保証しかねます。消耗品については本紙末尾を参照してください。
- ・ 日本国外へ移動した場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。

2) スクリーンマスターの保管について

- ・ スクリーンマスターは正しく保管してください。次のような場所での保管は、おやめください。

- ① 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所
- ② 温度が急激に変化する場所
- ③ 高温多湿、低温少湿の場所



印刷に関する注意

個人が利用する場合でも、自由に何でも複製してよいというわけではありません。次のような複製はおやめください。特に、単にその印刷物を所有しているだけでも法律的に罰せられる種類の印刷物がありますので、十分ご注意ください。

法律で印刷を禁止されているもの

次の文書は、法律で印刷を禁止されています。

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券（「見本」印があっても複製禁止）
- ・ 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
- ・ 未使用郵便切手、郵便はがきの類で、政府の模造許可をとっていない場合
- ・ 政府発行の印紙、酒税法などで規定されている証紙類



参考：関係法律

- ・ 通貨及ヒ証券模造取締法
- ・ 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- ・ 郵便切手類模造等取締法
- ・ 印紙等模造取締法
- ・ 紙幣類似証券取締法

営利目的での印刷を禁止されているもの

次のような複製は、おやめください。

- ・ 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などの事業会社が業務に使用する最低必要部数以外の複製
- ・ 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類の複製
- ・ 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、写真など著作権の対象となっているものの複製（個人的または家庭内、あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する場合以外、複製することを禁じられています。）



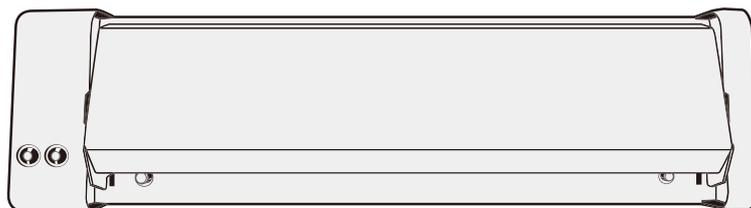
第1章：はじめに

1.1 本機について

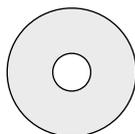
本機はスクリーンマスター専用の製版機です。パソコンで作成したイメージを直接にスクリーンマスターに製版することができます。

1.2 同梱品の確認

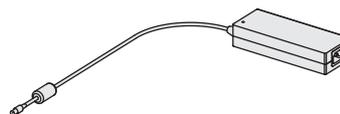
開封後、以下の同梱品が揃っていることを確認してください。



本体



ソフトウェア CD



AC アダプタ

その他：

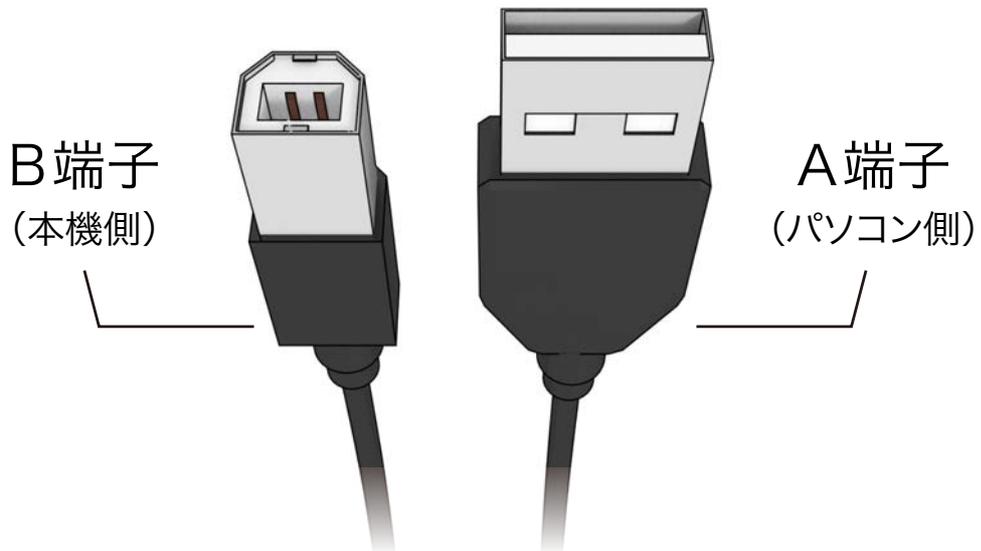
- ・ 取扱説明書（本紙）
- ・ 合格証
- ・ 保証書
- ・ FCC 宣言書
- ・ CE 宣言書

上記以外の商品につきましては、すべて別売となります。
詳しくは、第8章「消耗品」をご覧ください。

1.3 ほかに用意するもの

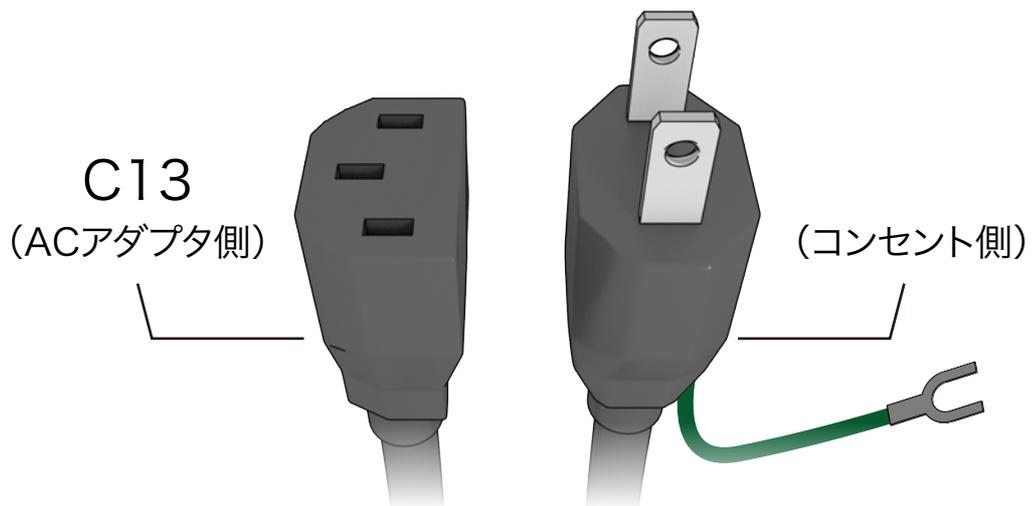
1) USB 2.0 ケーブル

B 端子のオスと、パソコン側に刺さる端子（ほとんどの場合 A 端子）のオスを両側にそれぞれ備えた USB 2.0 ケーブルをご用意ください。



2) 電源コード

AC アダプタとコンセントを接続する電源コードをご用意ください。



1.4 各部名称と機能

1) 本体

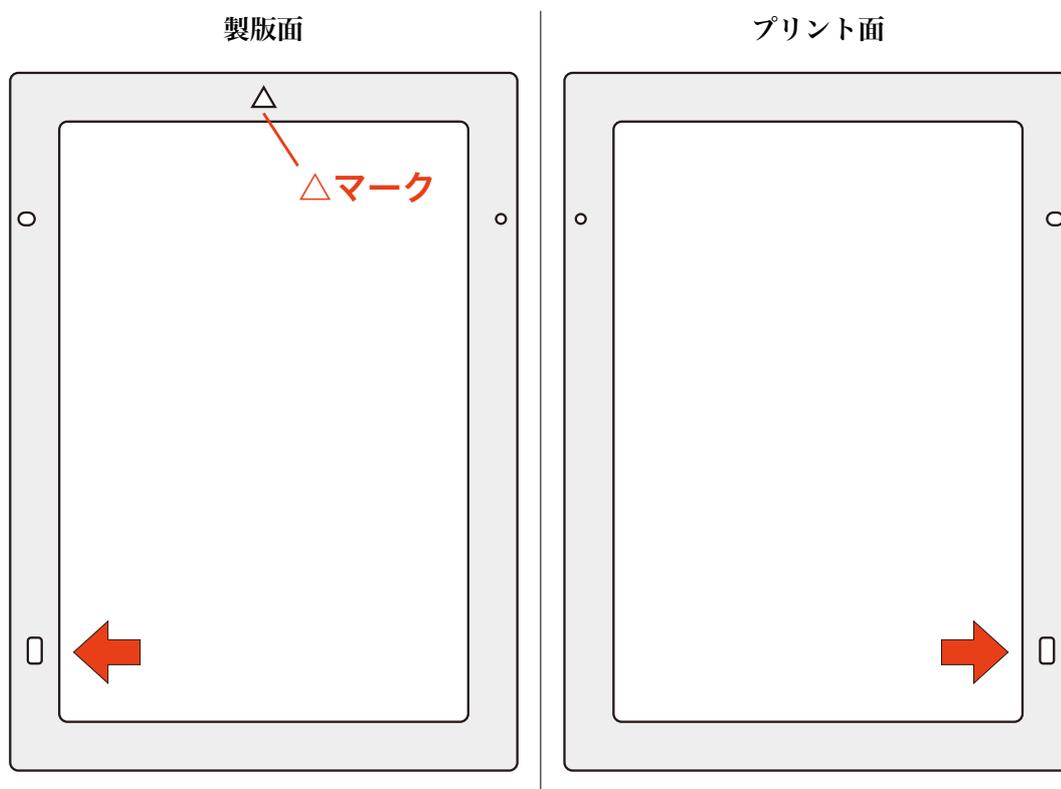
製版をする機器です。



2) フレーム（別売品）

スクリーンマスターを貼るためのフレームです。

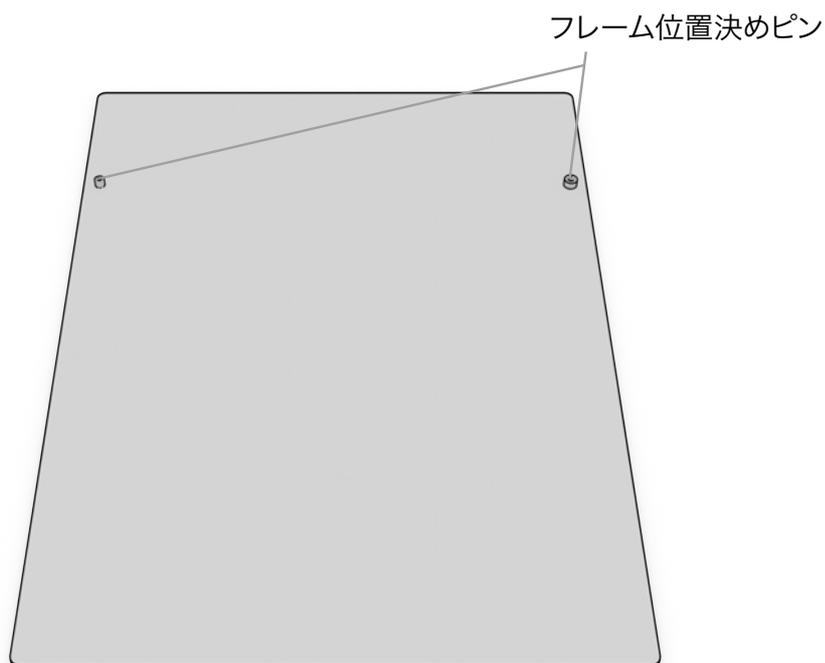
製版するときとプリントするときで、使用する面が異なりますのでご注意ください。



3) プリント台（別売品）

プリント時にフレームが素材からずれないように固定するための台です。

フレーム位置決めピンのある方が表面です。





第2章：初めて使用するときの準備

2.1 パソコンにソフトウェアをインストール

ソフトウェア CD をパソコンで読み込み、中に含まれる「初めにお読みください」での指示に従ってインストールしてください。

第3章：データの作成

3.1 使用できるファイル形式

付属のアプリケーションではPDF、BMP、JPEG、PNG形式のイメージファイルを使用できます。イメージファイルはアプリケーションが自動で白黒二階調に変換してから本機に転送されます。

(PDF互換ファイルとして保存した場合に限りAI形式も読み込み可能です。)

※PDFやPDF互換AIファイルではページ(アートボード)の選択はできません。複数のページを持つファイルの場合、1ページ目が読み込まれます。

※イメージファイルの画像率が70%を超えると、連続製版時にオーバーヒートで停止することがあります。最大10分のクーリング時間が必要です。(適正環境での使用時)

3.2 イメージサイズ

使用するイメージファイルは付属のアプリケーションでリサイズできますが、BMP、PNGのようなドットで構成されるイメージファイルの場合は、本機の解像度(203 dpi)に合わせたサイズで作成しておくこととアプリケーションで拡大/縮小することによる劣化を抑えることができます。

例：160 mm × 200 mm でプリントしたい場合

1 インチは 25.4 ミリメートルなので

$$160 \text{ [mm]} / 25.4 \text{ [mm/inch]} = 6.3 \text{ [inch]}$$

本機は 203 dpi なので

$$6.3 \text{ [inch]} \times 203 \text{ [dot/inch]} = 1279 \text{ [dot]}$$

同様にして、

$$200 \text{ [mm]} / 25.4 \text{ [mm/inch]} = 7.9 \text{ [inch]}$$

$$7.9 \text{ [inch]} \times 203 \text{ [dot/inch]} = 1604 \text{ [dot]}$$

→ 1279 px × 1604 px のイメージサイズが最適です。

第 4 章：準備

4.1 設置

本紙冒頭の「安全にお使いいただくために」に記載されたことに注意しながら作業を進めてください。

以下、「1.2 同梱品の確認」に記載の商品以外につきましては、すべて別売となります。

4.1.1 本体を設置

コンセントから電源ケーブルが余裕を持って届く、フラットで安定した場所に本体を設置します。

本体を持ち上げるときは電源を切り、両手で両端を持ってください。

本体の手前から挿入するフレームが奥まで動くため、本体の後方にフレームの長さ以上の空間を確保してください。



本体から USB ケーブルが余裕を持って届く範囲にパソコンを設置します。

4.2 接続

本体の電源スイッチが OFF であることを確認してから以下の作業を行なってください。

4.2.1 電源の接続

1) AC アダプタと電源コード

AC アダプタの先端にある電源端子に、電源コードを接続します。

2) 本体と AC アダプタ

本体の背面の電源端子に、AC アダプタから伸びるケーブルの先端にある端子を接続します。



3) 電源プラグとコンセント

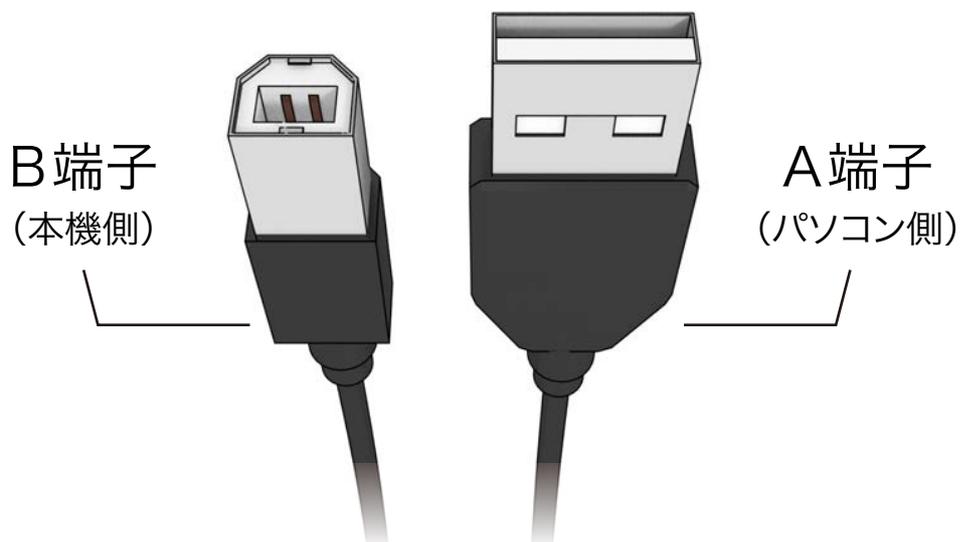
電源コードの先端にあるプラグをコンセントに差し込みます。

このとき必ずアース接続をしてください。

※ アース線付電源プラグでのアース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。

※ アース線付電源プラグでのアース接続解除は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

4.2.2 パソコンと本体の接続



1) 本体と USB ケーブル

本体の背面にある USB ポートに USB ケーブルの B 端子を差し込みます。



2) パソコンと USB ケーブル

パソコンの USB ポートに USB ケーブルの A 端子を差し込みます。電源スイッチはパソコンにソフトウェアをインストールしてから ON にしてください。

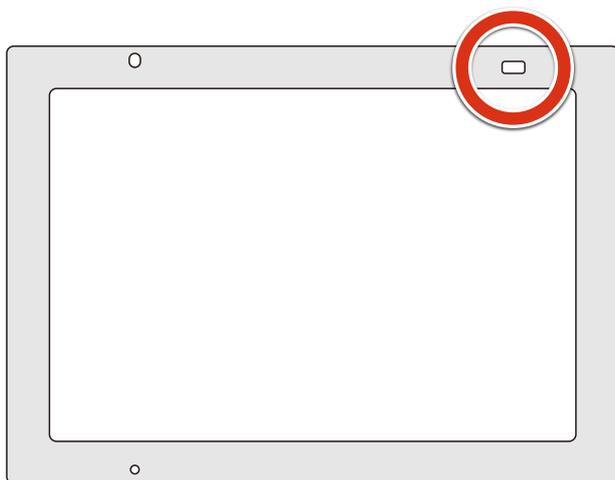
第 5 章：製版

5.1 スクリーンマスターを貼る

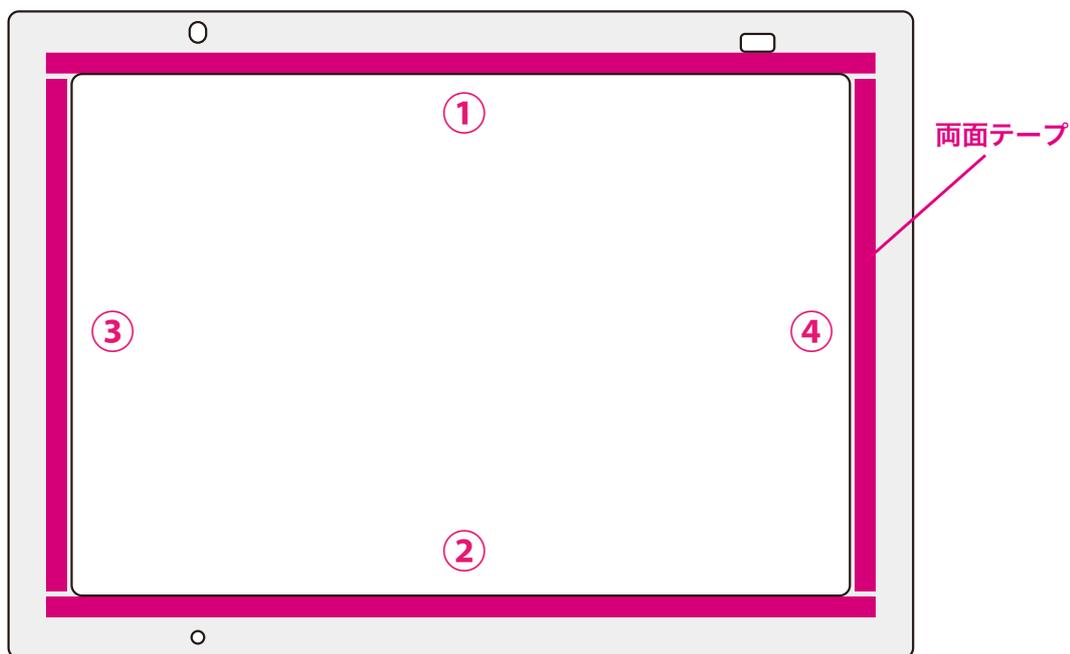
本機では、製版をする前にフレームにスクリーンマスターを貼ります。
フレームとスクリーンマスターの表裏に注意して作業を進めてください。

5.1.1 フレームに両面テープを貼る

フレームのプリント面を表に向けて下図のような方向に置いてください。長方形の穴が右上です。



下図の番号順で両面テープを貼ってください。剥離紙はまだはがさないでください。



※ 両面テープは綺麗にカットしてシワにならないように貼ってください。

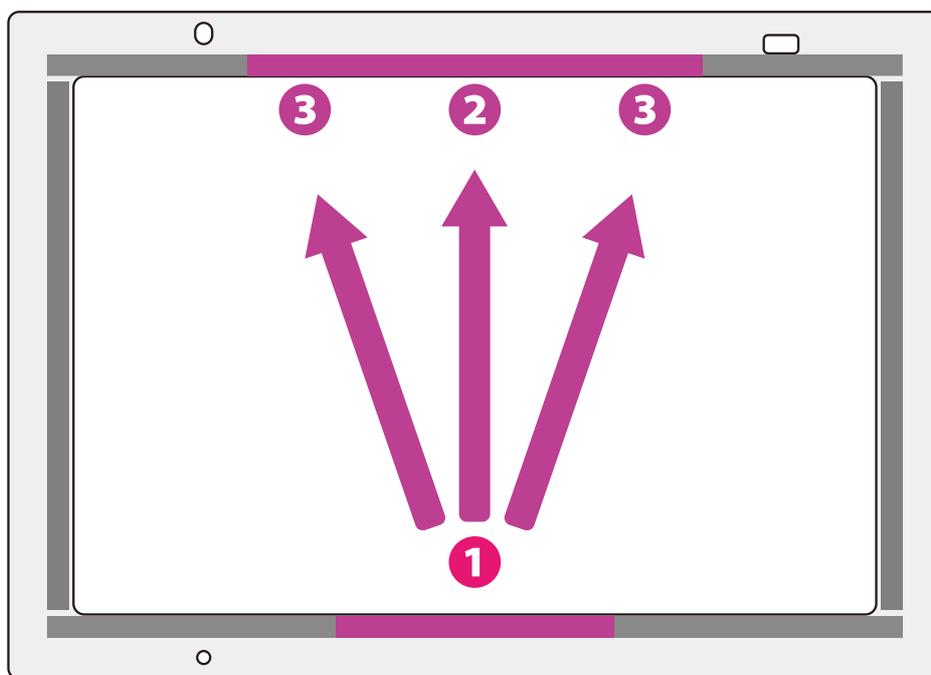
※ フレームに両面テープが貼り付かなくなった場合は、フレームの表面の汚れを落とし、必要であればアルコールなどで拭いてください。

5.1.2 フレームにスクリーンマスターを貼る

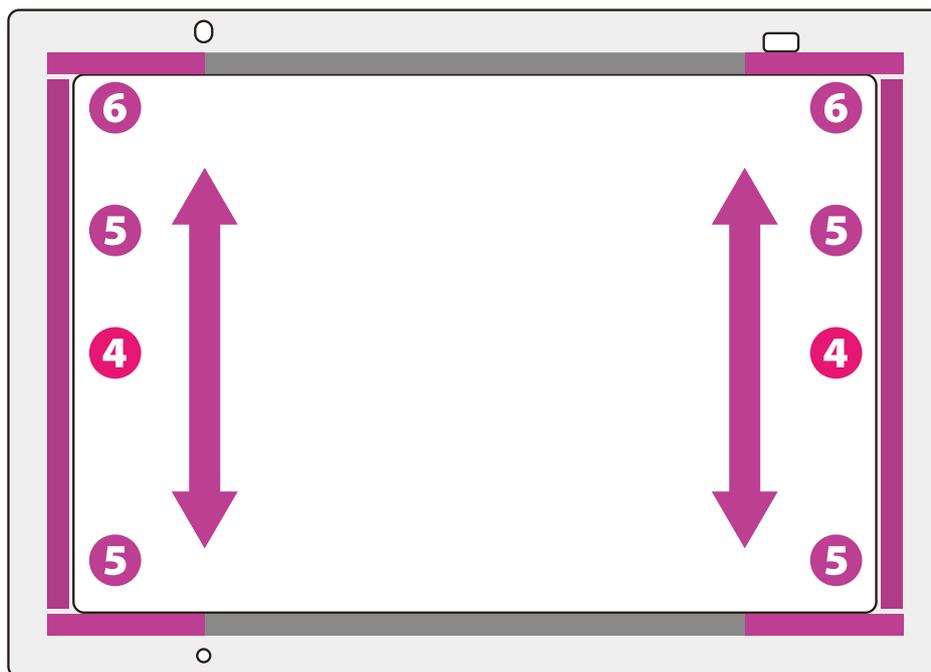
両面テープの剥離紙を剥がしてスクリーンマスターを貼っていきます。下図の番号順に押さえるとたるまずに固定できます。

スクリーンマスターの裏表に注意して貼ってください。ツルツルしている面が接着面ですのでそちらを下にして貼ります。

1) 長辺



2) 短辺

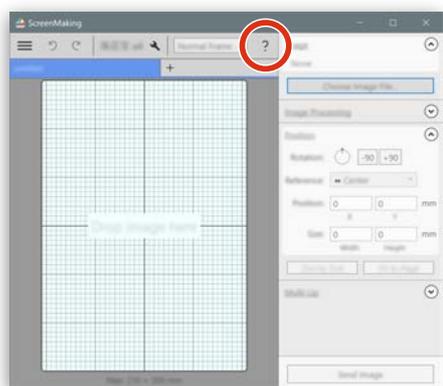


5.2 パソコンからイメージを転送

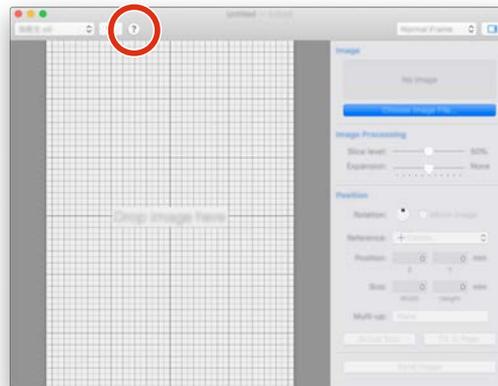
本機ではパソコンから、選択したイメージのデータを転送して製版します。

アプリケーション内にあるヘルプボタン「？」を押すと、解説が表示されます。解説に従って操作してください。

ボタンの位置は以下の通りです：



Windows



macOS

※ 画面からはみ出た部分の絵柄は製版されません。

※ データ転送中は本体の電源ランプ（グリーン）が点滅し、転送が終わると常時点灯に戻ります。

● データ転送中に点滅



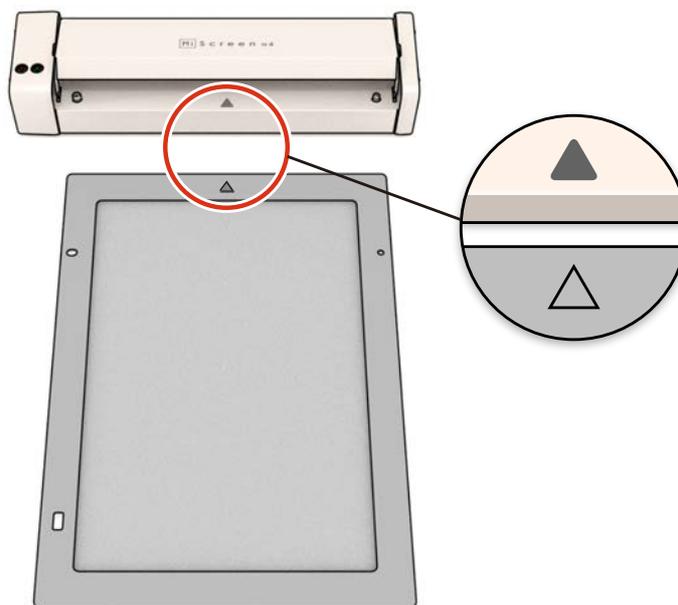
5.3 製版

パソコンからイメージを転送した後の作業です。

5.3.1 フレームをセット

1) 方向と表裏

本体とフレームの方向／表裏の関係を下図のようにしてください。



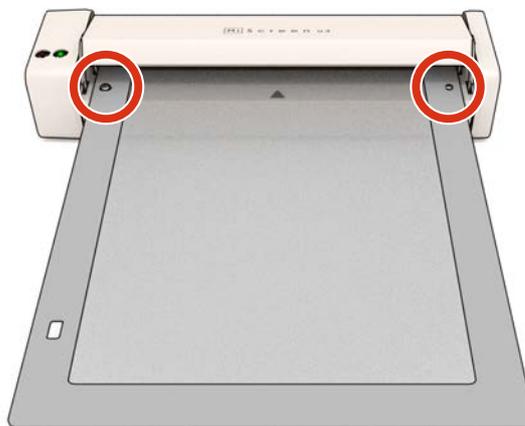
2) 挿入

フレームの、左右に丸い穴のある側を本体の挿入口に少し挿入します。

※ 挿入するときは本体とフレームが平行になるようにします。斜めに挿入するとヘッドを傷つけてしまう可能性があります。

3) 穴を合わせる

本体正面の挿入口にあるフレーム位置決めピンに、フレームの丸い穴（それぞれ2箇所）をピッタリとはめ込んでください。



5.3.2 製版

1) 製版開始

本体やフレームが傾かないように水平を保ちながら、カバースイッチを閉じるように中心を押し下げ続けてください。フレームが奥に向かってゆっくり動き出し製版されます。



2) 製版完了

フレームが挿入口の反対側から現れて動きがストップしたらカバースイッチを押すのをやめて手を離してください。製版完了です。

フレームを本体と平行にしたまま、本体背面からフレームをゆっくりと引き抜いてください。

一連の製版作業が終了したら電源をお切りください。

※ カバースイッチを押す指がフレームに触れないように注意してください。

※ 強く押しすぎて本体が倒れないように注意してください。

※ 手前からフレームを引き抜かないでください。ヘッドを傷つけてしまう恐れがあります。

※ エラーランプが点灯した場合はカバースイッチを離して本体の電源を切り、フレームをそっと引き抜いてください。

※ 本体の電源を切ると転送されたデータはリセットされるため、再度イメージを転送する必要があります。

※ 製版動作の途中でカバースイッチをゆるめると動作は中止されます。

この場合は**続きから再開することはできません**。(初めから製版されてしまいます。)

中止されたら本体の電源を入れ直し、スクリーンマスターの貼り付けからやり直してください。そのまま同じスクリーンマスターを使用した場合にはズレて製版される可能性があります。

第 6 章 : プリント

6.1 プリント台へのセット

フレームをプリント台に置くことで簡単に固定しながらプリントできます。

※ プリント台は、厚さが1 mmを超えたり、フレーム位置決めピンに干渉するサイズの素材には使用できません。

※ プリント台を使用しない場合は、スクリーン版を直接素材にあててプリントします。裏抜けしやすい素材の場合は厚紙などを素材の下に敷いてください。

6.1.1 プリント台を設置

フラットで安定した場所にプリント台を設置します。

フレーム位置決めピンが奥になるようにしてください。

※ プリントするときに強く押さえるため、机や台もぐらついたり倒れたりしないように安定している必要があります。

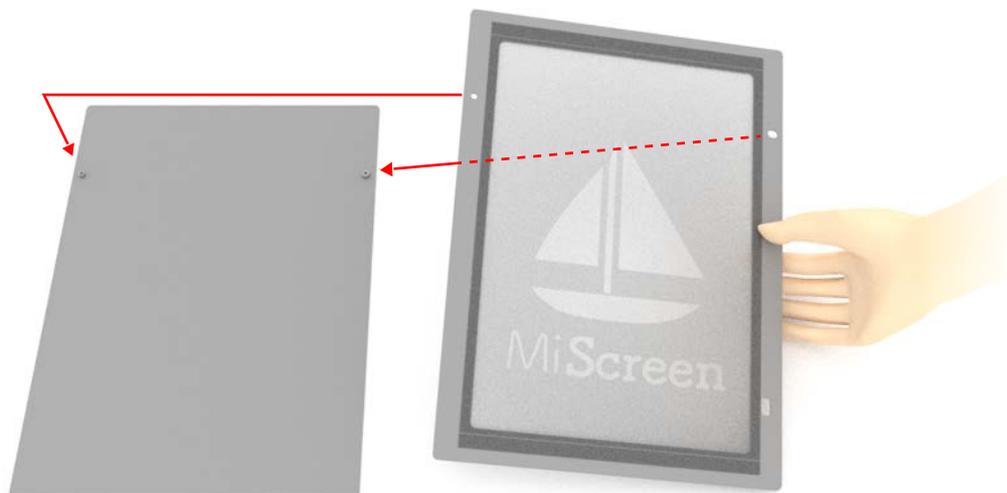
※ プリント台は平面性を保つためにフラットな板にしています。滑りやすい机の上でご利用の際は、プリント台を固定するなどしてずれないようにご注意ください。

※ インクのついたフレームやスキージを置くための場所として、古くなった新聞紙などを用意することをおすすめします。



6.1.2 デザインの位置を確認

製版済みのフレームをプリント台にセットするとデザインの位置がわかります。まず、フレームのプリント面（製版したときとは逆の面）を表に向けてください。そのままプリント台の位置決めピンにフレームの穴をはめ込みます。



デザインの位置を把握したらプリント台からフレームを外してください。

6.1.3 素材をセット

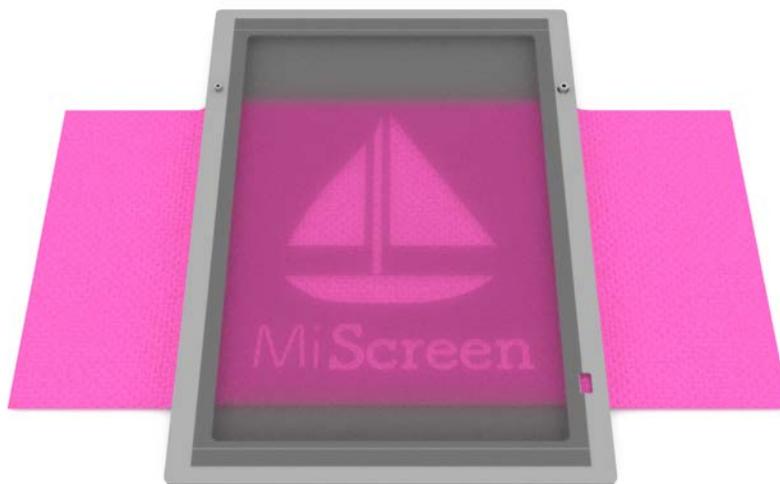
ちょうどいい位置にデザインが来るように素材を置きます。プリント台の突起を素材で塞がないように注意してください。フレームを重ねてデザインの位置を確認しながら素材の位置を調整してください。



※ 素材がずれないように弱い粘着スプレーなどの使用をお勧めします。

6.1.4 フレームをセット

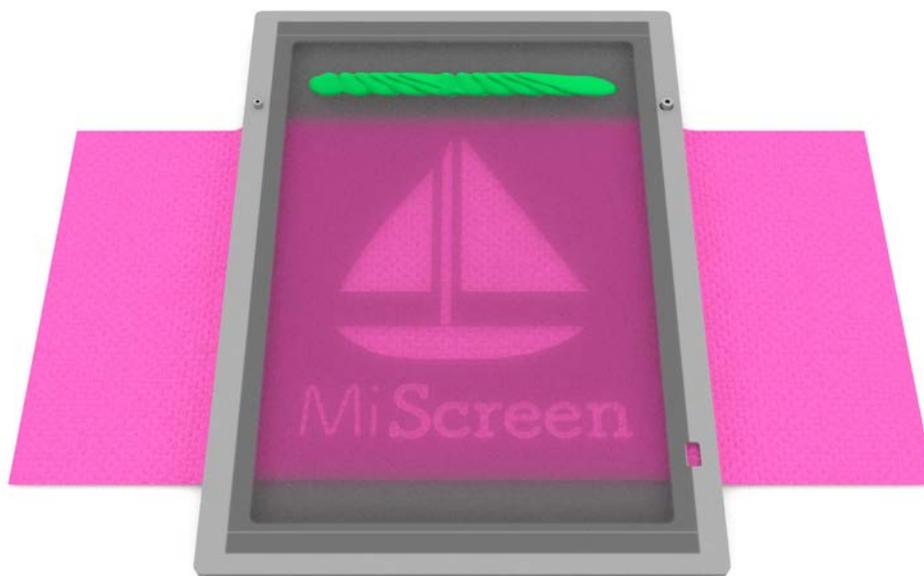
素材の上に、デザインの位置を確認したときと同様の位置と方向でフレームをセットしてください。



6.2 プリント

6.2.1 インクをのせる

パレットナイフなどでインクをすくい取り、スクリーンマスターの上端にスキージの幅ぐらいの長さで一直線ののせます。

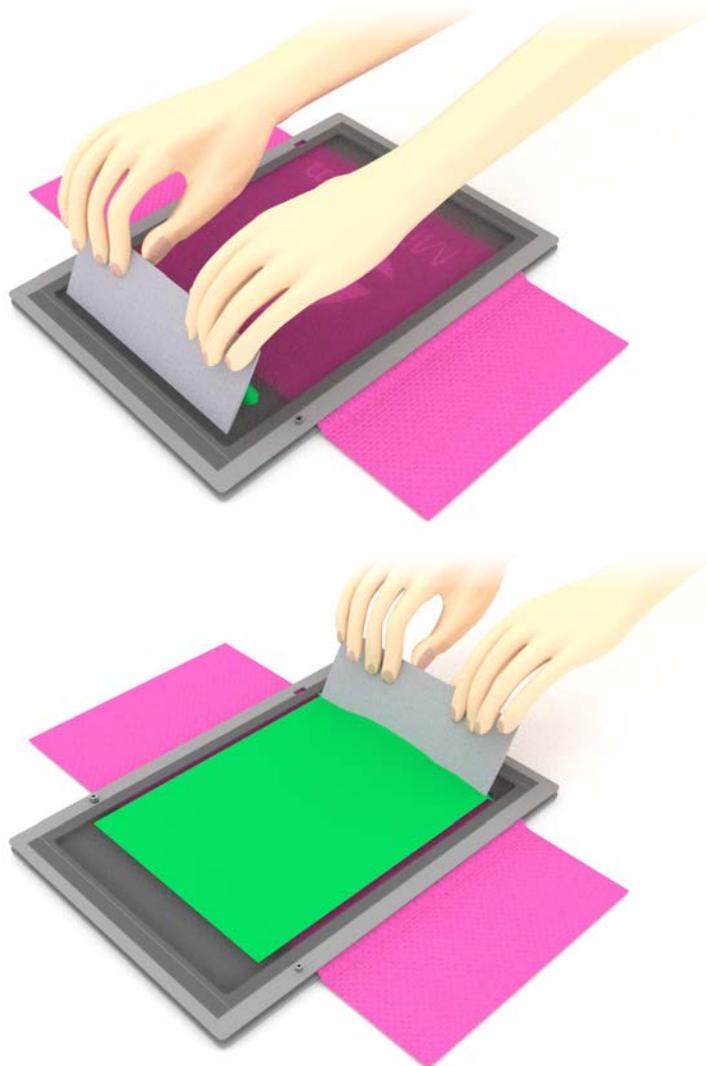


インクの量が少ないとデザインがかすれる可能性があるのでたっぷりとのせてください。

※ 水性インクを推奨します。使用するインクの説明に従ってお使いください。

6.2.2 スキージでプリント

両手でスキージを持って、スキージの先端をインクより少し上（奥）に当てます。
プリント台が動かないように注意しながら、少し押さえつける力を加えつつ、スキージの角度を保ったまま、デザインの終わり（スクリーンの手前方向）までまっすぐインクをかき取るように引きます。



素材を入れ替えて連続してプリントすることができます。

- ※ デザインの終わりに溜まったインクはスキージやパレットナイフを使ってデザインの上部（スクリーン版の奥）に戻してからプリントしてください。
- ※ 水性インクをご使用の場合は、スクリーン版が乾く前に、製版面（ツルツル側）を水で含ませた布でインクをとかしながら拭き、その後乾いた布で水気をとると、スクリーン版の目詰まりを防いでプリントを続けることができます。

6.2.3 インクを乾燥

プリントした素材は乾燥（定着）させる必要があります。
乾燥方法はインクによって異なるため、使用したインクの容器に記述された説明に従ってください。



第7章：メンテナンス

7.1 本体内部のクリーニング

きれいな製版結果を得るためには、定期的にヘッドやローラの汚れを落とす必要があります。

⚠ 重要

- ・ クリーニングは本体の電源を切り、ACアダプタとの接続を解除して、サーマルヘッドが十分に冷えた状態で行ってください。
- ・ サーマルヘッドは非常にデリケートな部分ですので、硬いもので傷つけたり、衝撃を与えたりすることは、絶対におやめください。
- ・ サーマルヘッドは静電気によって破損する場合があります。クリーニングする前には必ず身体に帯電している静電気を除去してください。
- ・ クリーニングのとき以外はサーマルヘッドに触れないでください。
- ・ クリーニングには、シンナーやベンジンなどの溶解性の強い有機溶剤は使用しないでください。

7.1.1 ヘッドユニットを開ける

本体正面に2つあるフレーム位置決めピンを両方同時に押し、ロックを外します。カバースイッチを持ち上げてヘッドユニットを開けてください。

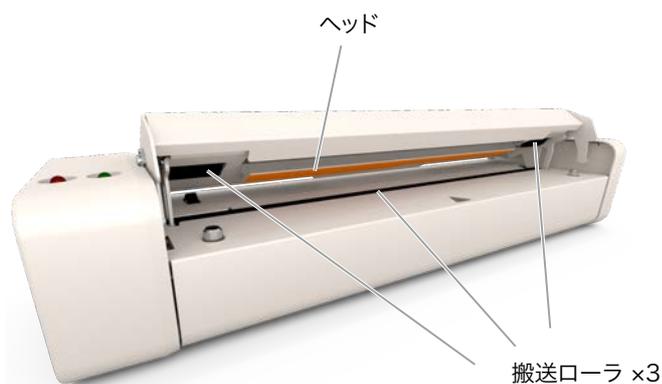


7.1.2 ヘッドをクリーニング

ヘッドユニットの下面にあるヘッドを、アルコールを染み込ませた綿棒でやさしく拭いて汚れを落としてください。

7.1.3 搬送ローラをクリーニング

ヘッドの両脇に2つ、下部全体に1つある搬送ローラを、アルコールを染み込ませた綿棒でやさしく拭き、付着しているほこりや異物を取り除いてください。

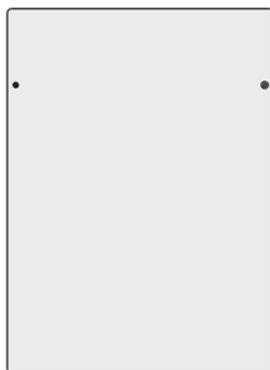


第 8 章：消耗品（日本国内）

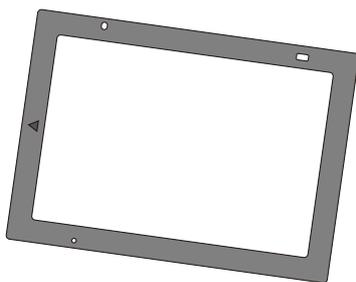
8.1 キット

1) MiScreen a4 スターターキット (S-8320)

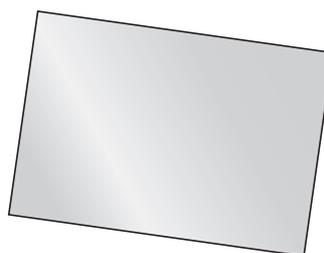
本機で製版とプリントをするための基本的なものをまとめたキットです。各商品は単品でのご購入も可能です。



プリント台



プラスチック製フレーム

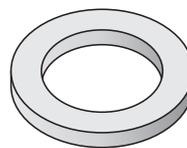


スクリーンマスター × 5枚

本機専用のスクリーンマスターです。
フレームに両面テープで貼り付けて使用します。



スキージ (23cm)



両面テープ

8.2 純正品

	商品番号	商品名
プリント台	S-8313	MiScreen a4 プリント台
フレーム	S-8314	MiScreen a4 紙製フレーム（大・小 5 枚入）
	S-8315	MiScreen a4 プラスチック製フレーム
スクリーンマスター	S-7768	MiScreen a4 スクリーンマスター 5 枚入
	S-8316	MiScreen a4 スクリーンマスター 20 枚入
水性インク 100ml	S-0552	RISO 水性インク 100ml ブラック
	S-0553	RISO 水性インク 100ml レッド
	S-0554	RISO 水性インク 100ml ブルー
	S-0555	RISO 水性インク 100ml グリーン
	S-0558	RISO 水性インク 100ml イエロー
	S-0559	RISO 水性インク 100ml ホワイト
水性インク 1000ml	S-5221	RISO 水性インク 1000ml ブラック
	S-5222	RISO 水性インク 1000ml レッド
	S-5223	RISO 水性インク 1000ml ブルー
	S-5224	RISO 水性インク 1000ml グリーン
	S-5226	RISO 水性インク 1000ml イエロー
	S-5227	RISO 水性インク 1000ml ホワイト

8.3 推奨品

	商品番号	商品名
両面テープ	S-8317	MiScreen 用 両面テープ
スキージ	S-8318	MiScreen 用 スキージ（23cm）
パレットナイフ	S-8319	MiScreen 用 パレットナイフ
電源コード	S-8312	AC アダプター用 電源コード（JP）



第 9 章：付録

9.1 トラブルシューティング

1) パソコンが本機を認識しない、正しく製版動作をしない

下記の事柄を上から順番に確認してください。

- ・ USB ケーブルを抜き差し
- ・ USB ケーブルが断線していないかどうか確認
- ・ 本機の電源を再起動
- ・ パソコンの電源を再起動
- ・ パソコンにソフトウェアを再インストール

2) 製版動作をするがはっきりと絵が出ない

スクリーンマスターとフレームの裏表関係が正しいことを確認してください。

3) インクがかすれる

- ・ インクを多めにのせてください。
- ・ 同じスクリーン版で2度目以降のプリントを行う場合は前回のインクによる目詰まりが発生する可能性があります。スクリーン版を洗浄（→ 6.2.2 末尾）してください。

4) 製版された絵の長さがパソコン上の指定よりも短い

フレームが正しく搬送されていない可能性があります。

搬送ローラをクリーニング（→ 7.1.3）してください。

クリーニングをしても改善しない場合は本体内部の故障の可能性がございますので販売会社にお問い合わせください。

5) ディップスイッチに触れてしまった

ディップスイッチを操作しても本体が壊れることはありませんが、電源を ON にしても動作しなくなります。万が一触ってしまった場合は、一度電源を OFF にし、スイッチのツマミをすべて上に動かしてから電源を入れ直してください。



9.2 エラー状態とランプの関係

- 1) ヘッド未接続 ERROR：●点灯 READY：○消灯
 本体の内部でヘッドが正しく接続されていない可能性があります。
 本体の電源スイッチを OFF にしてください。時間をおいて電源を入れ直しても同じエラーが表示される場合は故障の可能性がございますので販売会社にお問い合わせください。
- 2) ヘッドオーバヒート ERROR：●点灯 READY：○消灯
 ヘッドの温度が異常に高く故障を引き起こす恐れがあるため、動作を停止しました。
 本体の電源スイッチを OFF にして、ヘッドの温度が下がるまでは本機のご使用をお控えください。
- 3) ヘッド高温アラーム ERROR：●点滅
 ヘッドの温度が高くなり製版品質が低下する恐れがあるため、温度が低下するまでは新しく製版を開始することができません。
 製版を開始する場合はエラーランプが点滅しなくなるまで数分間お待ちください。
- 4) ヘッドアップ ERROR：●点滅
 製版中にカバースイッチを離した場合、エラーとして製版動作を途中で停止します。
 フレームを再度セットして製版を行ってください。
- 5) フレームなし ERROR：●点滅
 製版データを転送後、フレームをセットしない状態でカバースイッチを押し下げるとエラーになります。
 カバースイッチを離し、フレームをセットしてから製版を行ってください。
- 6) フレームサイズ不一致 ERROR：●点滅
 正規のフレームを使用せずに製版を開始した場合、エラーとして製版動作を途中で停止します。
 正規のフレームをセットして再製版してください。

9.3 シリアル番号の表示位置

本機のシリアル番号は本体底面の情報シールに記載されています。

9.4 本機の仕様

製版方式	デジタルスクリーン製版
解像度	203 dpi × 203 dpi
製版時間	約 35 秒
フレームサイズ	310 × 430 mm
最大製版領域	210 × 300 mm
連続製版時の クーリング時間	10 分
インターフェイス	USB 2.0 (B 端子)
電源	DC 24 V 6.0 A (AC アダプタより供給) (AC アダプタ仕様 AC 100-240 V ~ 50/60 Hz 2.0 A)
質量	約 2.9 kg
消費電力	最大：120 W レディ状態：3.5 W 以下
対応 OS	Windows®、macOS (最新バージョンは弊社ホームページの製品情報をご参照ください。)

※仕様は予告なく変更する場合があります。

9.5 問い合わせ先

理想科学工業株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋 2-20-15 新橋駅前ビル 1 号館

お客様相談室 0120-343-338

受付時間 (月～金 10:00~12:00、13:00~17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)